

あらいざわ通信

第89号 2017年7月26日
発行： 荒井沢市民の森愛護会
上荒井沢水辺愛護会
横浜市栄区田谷町 888
発行責任者： 石川 嘉一郎

オカトラノオは生きていた フォローアップ研修：荒井沢に咲く花

3月11日に実施した保全管理計画のフォローアップ研修「荒井沢に咲く花」の第2回を6月17日に行いました。



言うまでもなく、荒井沢市民の森は3列の丘陵部とその間、2列の谷部から成っており、第1回の研修は北側の谷部を中心に座学の形で倉庫の中で行いました。今回は季節柄、南側の谷部から斜面を展望台まで登り、北側の谷部に下りるコースを歩きながら植物たちを実際に観察する研修になりました。

午前10時集合。出発地点の炭焼き広場には前回に続いての講師北川淑子先生と市の職員ほか6名、愛護会会員19名が集まりました。まず足元のオオバコなどの草、青い空に枝を伸ばすエノキ、ガマズミなどを見上げたあと、南側斜面の裾にサラシナショウマを発見、近く行われる草刈りに備えて早速マーキングします。

広場奥から登る斜面は保安林の北側に位置し日照の少ない場所で、既にマーキングしてあったマムシソウのほか、花をつけているムラサキ

ニガナを見ます。斜面を上がり切った分岐点には、樹木の枝の切れ目から差し込む陽の光を浴びてオトギリソウ、カントウカンアオイ、そして小ぶりながらオカトラノオが花を咲かせています。

展望台に来るとシモツケの花は終わり、待望のオカトラノオは日照不足で見当たらずがっかりしましたが、奥まった日当たりのよい所にはホタルブクロとオカトラノオが花を咲かせていました。ここでホタルブクロとヤマホタルブクロの見分け方を教えていただきました。



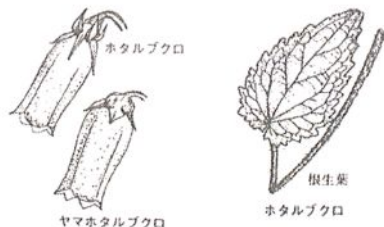
一方、展望台の日照を良くするために大きくなり過ぎたキハダ3本のうち1本を伐り倒す相談が進み、これも今回の研修の成果です。また、笹のトンネルを成しているアズマネササの生育範囲が広がり、高くなって光を遮っていることも要因と考えられ、高さを抑えるなどの対策も必要かと思われます。

展望台からヤマユリの群生地に向けて下ります。開花を期待（展望台では手の届かない所に開花した個体が見えた）していましたが、あと数日を要する風情。その辺りにヒメコウゾが赤い、イチゴのような実をつけていました。

下りきった所の葉の陰に、ひっそりと息づく植物を教えてくださいました。カテンソウ(*)という横浜市内で栄区でしか発見されていない珍しい種とのこと。草刈りの時に刈り取られる心配はないと思われる場所にある小さな植物なので、敢えて目印はつけませんでした。

ヤマホタルブクロ (桔梗科)

本州中央部に見られる。ホタルブクロそっくりだが、萼裂片は幅が広く間にふくらみがある。花の色は淡紅紫色が多い。花期は共に6-7月。



スゲの湿地にツリフネソウの健在を確認後、ツルニンジンの位置が変わっているのではないかなどと話しながら階段を下り、最近見なくなったツルデンダ(*)を別の場所に発見、水田沿いの水路ではアカショウマとイヌショウマの見分け方を学び、最後に蛙池のそばでタコノアシ、ミソハギ、クサレダマなどの見分け方を習って研修を終えました。

(注)「横浜の絶滅危惧種目録」によると、カテンソウは栄区のみ、ツルデンダは金沢区と栄区のみで生息とある。

平成 29 年度定期総会

今年度の定期総会が5月20日、快晴の極楽広場で開催されました。来賓としてお迎えした方々は日ごろ当愛護会の活動を支援してくださっている栄区役所、同土木事務所、南部公園緑地事務所、そして公田小、桂台小両校の校長先生、副校長先生の皆さま計11名。

茨木役員の司会で開会、来賓代表の見上副区長から「森の環境はしっかり守られている。今後とも愛護会の活動を支援していく」とのご挨拶のあと、議長に坂本役員、書記に宮崎役員を選出して議事に移りました。活動報告は佐藤役員から、会計報告は島田役員、会計監査報告は糸川監事が行い議事は順調に進みます。役員全員の留任が承認され、新年度の活動計画、予算案も滞りなく承認されて総会を閉じました。活



ヤマユリが咲きました

ジャケツイバラと並んで荒井沢のシンボルとも言える花です。昨年より若干遅めですが、待っていた分、美しく見えます。今年の見せ場は倉庫周辺で、ホオノキ地区は樹の枝が茂って日照不足と、周りの草が邪魔をして痛々しい様相を呈しているのが残念。何とか対策を講じて来年に期待したいですね。



動の内容全体を見ると、会員の高齢化により横浜市からの支援に頼る部分が徐々に増えてきていることを感じます。無理をせず、怪我をしないよう、未永く活動を継続すべく今後一層の支援を改めてお願いいたします。

総会の締めくくりに、司会の茨木役員から平成9年秋の愛護会設立総会から数えて今総会は20回目に当たるむね披露され、感慨を新たにしました。閉会後は恒例の懇親会を賑やかに開催したあと散会しました。

今後の活動予定

- 8月5日(土)当番:本間
各広場・散策路の清掃・パトロール
カヤ刈り(カヤの湿地)
草取り(水田・午後)
- 8月12日(土)当番:草本
各広場・散策路の清掃・パトロール
笹刈り(水路北側斜面)
草取り(水田・午後)
- 8月19日(土)当番:坂本
各広場・散策路の清掃・パトロール
笹刈り(水路北側斜面)
- 8月26日(土)当番:佐藤
各広場・散策路の清掃・パトロール
草刈り(階段とスゲの湿地周辺)
草刈り(蛙池~階段下散策路)
- 9月2日(土)当番:茨木
各広場・散策路の清掃・パトロール
草刈り(当日対応)
- 9月9日(土)当番:本間
各広場・散策路の清掃・パトロール
炭焼き
草刈り(極楽広場と周辺散策路)
- 9月16日(土)当番:草本
各広場・散策路の清掃・パトロール
草刈り(当日対応)
稲架組立て(午後)
- 9月23日(土)当番:坂本
各広場・散策路の清掃・パトロール
草刈り(水田畦と周辺)
畦渡り木の取替え(午後)
稲刈り用具等の準備(午後)
- 10月7日(土)当番:佐藤
各広場・散策路の清掃・パトロール
下草刈り(水路南側斜面)
- 10月14日(土)当番:茨木
各広場・散策路の清掃・パトロール
下草刈り(水路南側斜面)
- 10月21日(土)当番:本間
各広場・散策路の清掃・パトロール
草刈り(当日対応)
炭出し・炭材詰め
- 10月28日(土)当番:草本
各広場・散策路の清掃・パトロール
脱穀作業
稲架け解体
- 11月4日(土)当番:坂本
各広場・散策路の清掃・パトロール
下草刈り(展望台)
草刈り(展望台~炭焼き広場散策路)
- 11月11日(土)当番:佐藤
各広場・散策路の清掃・パトロール
下草刈り(水辺上流)
- 11月18日(土)当番:茨木
各広場・散策路の清掃・パトロール
下草刈り(水辺下流)
- 11月25日(土)当番:本間
各広場・散策路の清掃・パトロール
下草刈り(ホオノキ地区半分)

10月2日~6日(金)に稲刈りがあります
なお10月から作業開始時間が10時から

定例作業と公式行事の記録

(平成29年4月～29年7月)

4月1日(土)雨・参加者：8名

椎茸菌の植付け

4月8日(土)小雨・参加者：10名

各広場・散策路の清掃・パトロール
苗床作り

4月15日(土)参加者：20名

各広場・散策路の清掃・パトロール
籾蒔き・防寒シートと防鳥ネット張り
枯れ笹・竹の整理(展望台)
畑、ヤーコン・里芋の植付け

4月22日(土)参加者：20名

各広場・散策路の清掃・パトロール
枯れ笹・竹の整理(展望台)
畑、ゴーヤ棚作り

5月2日(火)参加者：7名

炭焼き
草刈り(炭焼き広場)

5月6日(土)参加者：19名

各広場・散策路の清掃・パトロール
草刈り(極楽広場と散策路蛙池まで)
ベンチの取替え(4脚)
畑、南瓜の植付け

5月13日(土)小雨、参加者：11名

各広場・散策路の清掃・パトロール
草刈り(蛙池～階段下散策路)
苗床、防鳥ネットと防寒シート外し

5月20日(土)参加者：23名

定期総会(極楽広場)

5月27日(土)参加者：17名

各広場・散策路の清掃・パトロール
水田、代掻き(3枚)
草刈り(畦道)
畑、里芋の植付け

5月31日(水)参加者：18名

公田小田植え(児童48、先生4、保護者7名)株信光社(社員3、区役所2名)

6月3日(土)参加者：18名

各広場・散策路の清掃・パトロール
苗取り

水田(桂台小)代掻き

6月5日(月)参加者：18名

桂台小田植え(児童72、先生4、保護者7名)区役所7名参加

6月10日(土)参加者：20名

各広場・散策路の清掃・パトロール
草刈り(三日月池周辺)
草刈り(スゲの湿地)

6月17日(土)参加者：19名

フォローアップ研修
野の花観察と植物の管理
講師：北川淑子先生

6月24日(土)参加者：20名

各広場・散策路の清掃・パトロール
下草刈り(鎌倉尾根散策路)
枯れ木の伐採(2本・午後)

7月1日(土)参加者：17名

各広場・散策路の清掃・パトロール
下草刈り(水辺上流)
草取り(水田・午後)

7月8日(土)参加者：17名

各広場・散策路の清掃・パトロール
草刈り(極楽広場)
炭出し・炭材詰め

横浜市による木道取替え始まる

7月15日(土)参加者：20名

各広場・散策路の清掃・パトロール
草刈り(極楽広場)・笹刈り(同斜面)
公田小水田草取り

7月22日(土)参加者：22名

各広場・散策路の清掃・パトロール
下草刈り(水辺下流)

〇〇 田植えが滞りなく終了 〇〇

今年の田植えは、雨に妨げられることもなく、順調に終了しました。

5月31日は公田小と信光社で、参加した人数は児童48名、先生4名、保護者7名、信光社社員が3名と区役所職員2名。

6月5日は桂台小児童が72名、先生4名と保護者7名で、いずれの児童数が例年より多いのに、よく統制がとれて、きびきびとした行動が目を引きました。お母さん方の働きもすばらしく愛護会としては大いに助かり感謝感謝。

今年は雨が少なく、農家では水不足の悩みをかかえていたと聞き及びますが、ここ荒井沢は湧水が豊富で、そんな悩みもなく7月の猛暑で稲は順調に育っています。これから先、台風や病虫害がなければと、豊作を願っています。

〇〇 網島市民の森訪問記 〇〇



市民の森愛護会会長会議で網島市民の森の飯田会長と知り合い、花桃の季節に見に来ないかとお誘いを受けました。4月6日、荒井沢の有志7名で訪問し園内をゆっくり歩きました。かつては果物の桃の産地だったとのことですが、今残るのは花桃だけ。桜の季節と重なり、桜と桃の花の競演で、それは見事な美しさ。まさに春爛漫を満喫させていただきました。



この日は飯田会長が所用でお留守だったため会員の本島さんに案内していただきました。昔は網島という名のとおり島だったとのことですが、今は網島の街並みを見下ろすように横浜中心部の高層ビルが林立し荒井沢では見られない風景が広がります。散策路は荒井沢のような急坂もなく、なだらかな起伏をのんびりと散策を楽しめます。近くに住んでいれば、毎日でも散歩に来たいほど。最後に立ち寄った茅葺の大きな古民家、かつては飯田会長の住まいだったとか。その長い広縁沿いに藤棚があり、藤が枝を伸ばしています。会長が在宅の折に藤の花を見に来ないかと再度のお誘いを受けて、4月24日に藤の花を見に再びの訪問。その日は会長が大きな門の扉を開けて待っていて下さり、広い庭にしつらえたテーブルで茶菓の接待を受け、藤の花を楽しみながら歓談しました。

かつては各市民の森の記念日等の行事に招待された際に森を見せていただく機会もありましたが、近年はそういう催しがなくなっています。時には他所の市民の森を訪れるのもいいなと感じました。



〇〇 横浜市からの支援活動 〇〇

➤ 木道取り換え



このほど横浜市が、痛んでいる木道を取り換えてくださいました。取り換えた本数は、スゲの湿地、水田脇を合わせて24本です。

➤ 動物調査を行います。ニリンソウ群生地、ホオノキ地区、保安林等に合わせて5か所にカメラを設置します。動くものがあると自動的に作動を始める仕組みになっています。カメラのそばに目印がつきますので、近くに立ち入る際には注意してください。調査期間は7月27日から10月末までです。



写真1. 使用するカメラ
薄暗い時や夜間はフラッシュが光ります。

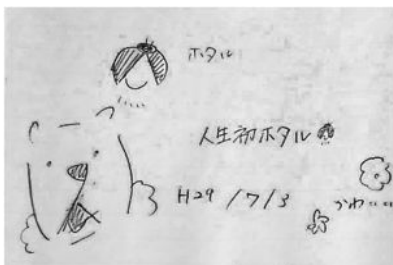


写真2. 設置例(台座とベルトを使用)

ふれあいノートから 〇〇

2017年6月26日。ホタルを見にきました。めっちゃたくさんいた!!!
これからもこの自然が守られてくれるといいですね。小学校のときに田植えをしたのがなつかしい。大人になっても変わらずで安心しました。

from 桂台の人



〇〇 草刈りのこと 〇〇

夏は草刈りの季節。横浜市との契約では、年に3回の草刈りをやることになっていますが、公園のような狭い場所とは違って、一度に全域を済ませることは不可能です。エリアを区切って順に刈っているうちに、一巡したところには、先に刈った所はすでに草ぼうぼうの状態です。

従って、4月から11月ごろまでの季節は草刈りに追われることになってしまいます。森の草の生え方は公園などの草と違って、広さだけではなく密集してしっかり生え伸びるので、決して楽な仕事ではありません。

ここで活躍するのは刈払機です。当会ではこの機械の取り扱いを講習を受講した会員だけに限っていますので、無資格者は手鎌や刈込鋏で刈るか、刈った草を掻き集めたり運んだりの仕事についてもらっています。

ところで、草刈りにも危険が潜んでいます。鎌で負傷する事故は滅多にありませんが、多いのはハチを驚かせて襲われる事故です。刺されたら、毒液を吸い出す、消毒する、病院に駆け込むなど、速やかな対処が必要です。

もうひとつ、刈払機が弾き飛ばした小石が人に当たる事故です。これには、特に来園者といった第三者を傷つける危険があります。人が近くにいるときは刈払機の回転を一時止める配慮が望まれます。

ところで小石を弾き飛ばさない、新しいタイプの刈払機が出たそうです。回転の仕組みが違



う2枚刃の構造になっているタイプで、「カルマー」という名で呼ばれているとのこと。当会でも近くテスト運転をすることにしています。